

授業科目名・形態	公衆衛生看護学実習Ⅰ 実習	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 碧 他	実務経験の有無	有	開講期	4年前期・後期

### 【授業の主題】

地域で暮らす個人の住まい・生活の場に訪問し、対象の生活および健康状態を多角的・継続的にアセスメントし、個人・家族がセルフケア能力を高めるために関係職種・関係機関と連携して継続支援できる能力を修得するための支援を行います。個人・家族のもつ対処能力や、社会資源を活用しながらの暮らし方の支援、その個別援助を通じて地域でのケアシステムの構築について意見交換し、保健師の役割を探求します。

### 【到達目標】

- 1 対象者および家族の生活および健康状態を多角的・継続的にアセスメントできる。
- 2 対象者および家族がセルフケア能力を高めるために相談的対応技術、教育的対応技術を用いて家庭訪問などによる継続支援ができる。
- 3 対象者及び家族の問題・課題の解決のために、社会資源の活用と、関係機関・関係職種との連携や協働について考察できる。
- 4 対象者および家族が質の高い生活を送るための、地域包括ケアシステムについて考察できる。
- 5 対象者及び家族への継続支援における、保健師の役割を理解できる。
- 6 支援者間の連携を促進する事例検討会の進め方を習得する。

### 【授業計画・内容】

1. 実習概要  
実習オリエンテーションで提示する（詳細は実習要項を参照）
2. 実習施設  
秋田県内の市町村（4か所）

### 【授業実施方法】

臨地実習と学内での事例検討会

### 【授業準備】

受け持ちの事例を多面的・多角的にアセスメントする。対象事例が地域で暮らすうえでの医療的な課題について事例に応じた自己学習を行うとともに、家族全体、自助・共助・互助・公助の様相など多面的・多角的に考察できるよう、総合的な自己学習、発展的な学びを主体的に行う。

### 【主な関連する科目】

公衆衛生看護学関連の全ての科目

### 【教科書等】

これまでに学んだ公衆衛生看護学科目、社会福祉などに関する科目等の教科書、資料類を幅広く活用する。

### 【参考文献】

適宜紹介

### 【成績評価方法】

実習内容・実習記録で50点、事例検討会で50点を配点し総合的に評価する。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師として、乳児から高齢者まであらゆる健康段階にある方の訪問をした経験を活かし、今まで学んだことを活かして体験的・実践的な学びとなるように実習進行をしていきます。

### 【学生へのメッセージ】

これまでに学んできた知識や技術を活かして、地域で生活している人々の健康課題解決への支援活動を実践する実習になります。各自が実習目標を持って、積極的な姿勢で実習に取り組んでいきましょう。